

平和を希求する心を育てる取組

報告年月日 令和2年2月25日

都市名・国 東京都台東区

取組の名称	台東区平和祈念事業 中学生広島派遣
実施主体 (該当項目に✓)	<input type="checkbox"/> 学校 <input checked="" type="checkbox"/> 自治体 <input type="checkbox"/> NGO <input type="checkbox"/> 複合 ( )
テーマ・目的	戦争の悲惨さや平和の尊さを学ぶ機会とし、恒久平和への意識を育み伝えていくことを目的として実施
対象者 (年齢・学年、人数等)	区立中学校1年生 7名 (区立7校の中学校から代表1名ずつ)
実施場所	広島市
実施期間	令和元年8月5日～令和元年8月7日(3日間) ※平成29年度から実施
<p>取組の概要(授業、イベントはプログラムの次第を、その他(例:コンテスト等)はそのプロセスを、具体的に記入してください。)</p> <p>① 広島市派遣にあたっての事前学習会(7月上旬) 中学生同士の顔合せ・当日の行程等説明・広島に関する座学・東京大空襲体験者との座談会</p> <p>② 広島市派遣(8月5日～7日) 中高生ピースクラブ事業参加・資料館等見学・平和記念式典参列・折鶴奉納・献花・とうろく流し参加・被爆体験者講話 等</p> <p>③ 各学校での報告会(9月～10月) 生徒自身で日程や会場の調整、発表内容等の準備を行い、全校集会や文化祭等で在校生に対し派遣時の活動や感想の報告</p> <p>④ 広島市派遣を終えての事後学習会(8月下旬・11月中旬の2回) 派遣された中学生が報告書の作成を行ったうえで、派遣時の感想等を学習会で発表 学校内での発表の様子や全体の感想を発表</p>	
<p>参加者の反応</p> <p>派遣生徒から「たった74年で何もなかった状態から建物や人が多い、にぎやかな町に出来る人間の力を戦争や核兵器にではなく、平和な世界にするために使ってほしい。」「戦争の記憶を風化させずに、核兵器のない世界にするために平和のバトンをつなげていくことが大切だと改めて思った。」といったこれからの平和に向けての想いについて報告があった。</p>	
<p>成果</p> <p>派遣後に、派遣生徒からの学内報告会や派遣報告書の冊子を作成することで、派遣中学生以外にも平和を学ぶ機会を提供することができていると考える。</p>	
<p>課題</p> <p>派遣人数や日数を増やすといった充実策の実施にあたり、中学校教諭の負担等を考慮しながら、慎重に検討している。</p>	
<p>取組で使用した素材について(図書、映像、パワーポイントなど。内容をわかりやすく簡潔に記入してください。)</p> <p>広島派遣後に図書「中学生広島派遣報告書」を作成</p>	
<p>上記素材の共有の可否(取組で使用した素材を、平和首長会議のWEBサイトに掲載し、他都市と共有することに、著作権その他の問題がないか、次からお選び下さい。)</p> <p>共有の可否については応相談</p>	

※ 画像等の資料がある場合は別ファイルで提出してください。